

引き渡し訓練（有帆小学校）

梅雨のさなか、有帆小学校では大雨による洪水・土砂災害を想定し、教員の指示に従って最上階の教室に避難する訓練に続けて、児童を保護者に引き渡す訓練が実施されました。学校が保護者にメールを送信して迎えに来てもらい、手順に沿って安全に子どもたちを保護者に引き渡しました。引き取り者が保護者ではない場合や引き取りが難しい場合などの対応についても確認できました。いつ起こるかもしれない自然災害や不審者による凶悪事件等に対しては、適切に行動できるように日頃からの備えがたいへん重要になります。



お話の会（厚狭小学校）

厚狭小学校には、20年以上前に保護者がつくられた「おひさまクラブ」があり、現在15名の会員が各学級で年に数時間、絵本の読み聞かせや語り、ブックトークなどをしておられます。この日は1年生のお話の会でした。プログラムは6つあり、その中の『ぞうくんのあめふりさんぽ』では、「ぞうくんが浮かんだ、おもしろい」「もういっぺん見たい」と盛り上がりました。あつという間の1時間でした。新型コロナウイルスの扱いが2類から5類になったことを受け、子どもたちが楽しみにしている取組も次々と復活してきました。



アサギマダラおいでませ作戦（本山小学校、赤崎小学校、松原分校）

竜王山という地域の自然を生かした学習の一環として、13年前から始まった学校行事です。今年度は3校の5年生（松原分校は5、6年生）児童が地域の方から植え方を教わりながら、渡り蝶のアサギマダラが好むサワヒヨドリの苗2000本を山腹の花壇に丁寧に植えました。植え終わった子どもたちは、「竜王山がアサギマダラの山になるといいな」「また〇〇小のみんなと一緒に活動したい」「地域の方がこのような機会を作ってくれて感謝」などと話していました。10月ごろにたくさんのアサギマダラが渡ってくるのが楽しみです。

